



MYOKOに 寄せられた声

妙高自然の家の財産は「自然」「人」そして「体験」。自然の家を訪れた方々は、妙高の自然に触れ、仲間と過ごし、豊かな体験から多くのことに気づきます。妙高自然の家に魅せられた方々から素敵な声が届きました。



仲間との絆を深めた6泊7日



十 日町市立千手小学校の5年生33名は、「仲間との絆を深め、新しい自分を発見しよう」を合い言葉に、6泊7日の長期宿泊体験活動に挑戦しました。

子どもたちは、火打山登山や源流探検、星空観察、バードウォッチングなど、恵まれた環境の中での豊かな体験を通して、たくさんの感動を得ました。

妙高アドベンチャープログラムでは、励まし合いながら問題を解決し、協力することや最後まであきらめないことの大切さを学びました。

仲間の良さに気づき、家族や周りの人達の支えに感謝しながら、自分の力に自信をもった子どもたち。全員が最後まで元気な笑顔で、活動を終えることができました。

妙高での学びは、これからの生活に生きていくことと思います。



妙高ボラ10年目突入



妙 高との出会いは、大学の社会教育実習でした。携

わったのは2週間の長期子どもキャンプで、様々な自然体験を通して日々成長していく子どもの姿や一緒に事業を支えてきたスタッフとの一体感・達成感に感動しました。そして、翌年の同事業のボランティアに参加しボラ活動にはまってしまうました。

ボラの魅力は、達成感や感動、充実感、自然の中にある施設ならではの経験を積めることだと思えます。また、様々な人と接することで刺激を受け、世界も広がりました。

10年もボラを続けられた理由は、職員の方々の温かさだと思えます。来る人を温かく迎え入れ、互いの意見を尊重しあえる雰囲気は、また来たいと思わせる力があります。私にとって、妙高は第二の故郷のような存在です。



法人ボランティア
山室芳子（トロ）

教師を目指す学生にとつての自然体験活動の重要性



本 学は身体活動を通して逞しさと感性を磨くため

に、「体験学習」を1年次の必修科目としている。その中で私の担当する「生活・総合何でも体験」コースでは、栽培活動体験や炭焼体験等の様々なプログラムを展開している。そのまとめとして、自然の家で森小屋を作り、夜営するサバイバルキャンプを行っている。5時間もの作業の末、小屋が完成すると達成感で満たされる。

この授業へ参加した誰もが自らの変容を感受し、生育過程の中でこれほど充実した経験はなかったと表現している。

経験は教育活動創造の母であり、自然体験は生活科や総合、特別活動に生きて働く学びである。例えば経験主義と言われようが、座学以上に体験的活動は、将来の教師の資質を左右し、実践的意欲につながる学びであると確信している。



上越教育大学学校教育総合研究センター教授
濁川明男

豊かな機能生かし自然の中で子育て



妙 高自然の家に着くと、子どもたちの多さに圧倒され

れます。みんな妙高の豊かな自然の中で、自然への興味や関心、豊かな心や感性、強靱な身体などを養うために、日ごろ体験できない楽しい活動を展開しています。自然は、子どもが大きく育つ絶好の場。人々の暮らしとともに子どもたちと自然との距離が離れつつある今、自然の家の果たす役割はきわめて大きいと思います。

今年度、妙高市の5小学校127名が自然の家を使って「通学キャンプ」を実施しました。自然の家が持つ人材やフィールド、プログラムに注目して行い、大きな成果を得ることができました。

私も自然案内人の活動を始めた頃から自然の家を利用し、息子が小学校に入学した3年前から家族会員としても登録。利用するたびに幸福感を味わっています。



妙高市教育委員会学校教育課学校教育係長
白倉徳一

Open the door of my heart



こ の「妙高青少年自然の家」を訪

れるとまず始めに、四季折々、刻々と変化する雄大な日本百名山の妙高山の頂きに出迎えられ、下界の毒気を抜かされます。

大自然の植物が放つ清んだ空気の中で呼吸しながら仲間と会話を交し、寝食を共にする内、仲間の中に、自分の中に、新しい本当の「何か」に気づき始めます。

そして、妙高アドベンチャープログラムでもっと真剣に自分と仲間と向き合わなければ越えられない冒険に挑戦します。励ましあい、本気でぶつかり合い、笑いあい、涙しあって、皆で課題を解決していきます。それは忘れられない達成感になります。達成できない時は、皆悔しがります。その時は大きな気づきを必ず得ています。みなさん「妙高青少年自然の家」で心の扉を開けましょう！

妙高アドベンチャープログラム外部指導者
金巻知子



国立妙高青少年自然の家より

妙高に寄せる熱い想いをいただきました。立場が変わってもみなさんにいえることは、妙高自然の家の応援団ということです。私たちはこういった多くの方々を支えられています。

そして、利用される方々からも支えていただいています。その恩返しとして、これからも利用される一人一人の笑顔のために自然を、人を、体験を紡いでいきたいと思っています。

